

# りとせ相模大野こども園

子育て支援広場 子育て情報 令和6年8月号



連日の熱中症警戒アラートで外遊びがままならない状況はありますが、子どもたちは輝く太陽にも負けないうらい元気いっぱい、大好きな水遊びができる日には大はしゃぎです。水の心地良い感触や不思議さ、面白さを知り、興味をもってたくさんのかんことを感じています。先月の3・4・5歳児に続き、0・1・2歳児の給食試食懇談会を実施しました。また、5歳児はサマーアドベンチャーでプリンス英米学院の先生方も一緒にお泊り保育を行いました。初めてお家を離れ、英語いっぱいのお泊り保育でしたが、帰ってきた子どもたちは自信と達成感を得て頼もしくなっていて、子どもたちの可能性の大きさを実感しました。

りとせ相模大野こども園では、子育て支援や交流を行いながら、地域の子育て世代の親子と園児が楽しく過ごす機会を提供しています。毎週水曜日・木曜日は園庭開放日となっています。園児たちと一緒に遊んでみませんか。ご利用をお待ちしています。※園庭開放のご利用は園にお問い合わせください。

## 豊かな経験が学力の土台

乳幼児期は、経験によって色々な能力を身に付けていきます。生活体験だけではなく、遊び、人との関り、コミュニケーションなど様々な実体験が経験となり、それら一つひとつの積み重ねが学力の土台になっていきます。

例えば、お買い物のお手伝いをして荷物を持ってみた時、一人で持ったら重かったけど、二人で持ったら軽くなったということを実感します。また、実際に自然の中で触ったり観察したり駆けまわったりする中で、感触やにおい、不思議を感じます。これらの経験は就学後の学習の中で鮮やかによみがえり「1/2ってこういうことか!」とか「あの青虫がこのちょうちょに?!」などなど授業の内容を面白がり、もっと知りたい、知ること、分かることって楽しい!と探求心や思考力に繋がっていきます。

乳幼児期は、学力の基礎を培うことができる時期でもあります。学習は人への信頼によって成り立ちます。人への信頼感を培うことが話を聞く力と学習への姿勢に繋がります。家族や友達に伝えたいと思える体験があり、それを言葉にして伝えることが言葉の力に繋がります。そして、見立てたり、何かをやっているつもりになったりと、遊びを自らつくって楽しむことが想像力や思考力、応用力、創造性に繋がります。

この他、幼児期に「めんどくさい」「疲れた」と体力が無かったり、生活習慣が自立していなかったりすると学習に臨むことが困難になります。

乳幼児期にこそ、人や自然と関わり、知識を得るよりも体験、経験を重ね、学力の土台を育むことを大事にしてみたいでしょうか。

## 育児相談

子育てをされていて、不安に思うことや誰かに相談してみたいと思う時はありませんか?りとせ相模大野こども園では、育児相談をお受けしています。お気軽にお電話ください。お待ちしております。

〒252-0303

相模原市南区相模大野3-16-18 TEL 042-705-4500